
道路橋示方書・同解説（平成24年3月）の改定対応項目

SUCCES『設計調書作成(H24)』

【 】: 道路橋示方書の編番号および章番号

(1) 鉄筋材質【IV4.3】

1. 材質の選択肢に高強度鉄筋(SD390, SD490)を追加しました。

(2) 柱の最小鉄筋量【IV7.3 (1) 1) ii)】

1. 「曲げを受ける柱部材等に対する適用」の規定が削除されたことに対応しました。

(3) 杭基礎の安定計算【IV12】

1. 土質定数の低減係数 $DE=0$ に対応しました。
2. 対応杭種に回転杭を追加しました。

(4) 地域別補正係数【V4.4】

1. 地域区分が改定されたことに対応しました。

(5) 設計水平震度【V6.4.3】

1. レベル2地震動(タイプI)の設計水平震度の算出方法について
 - ・設計水平震度の標準値に地域別補正係数に乗じた値の下限値が改定されたことに対応しました。

(6) 橋に影響を与える液状化の判定【V8.2.3】

- ・レベル1地震動の液状化の判定機能を追加しました。
- ・粘性土層についての液状化の判定機能を追加しました。

<<用語の改定>>

以下の用語の改定に対応しました。

[改定前]	[改定後]
・スターラップ	→ せん断補強鉄筋・帯鉄筋

以上